

はじめのいっぽ



本物に目がくぎ付け！

2017年10月25日
東大淀小学校 1年生学年通信
No.35

皇學館の学生さんの
出前講座



今回の土曜授業は、e-おいずの環境学習で、1年生は皇學館の生物ゼミの学生さんと、「こん虫と自然観察」について学習しました。今回の授業に向けて標本や掲示物やプレゼンまでいろいろ準備してくださり、何回も練習を重ねてもらっているので、子ども達は興味津々！本物の力は大きいですね。キロスズメバチのはりや、マムシの標本に子ども達の目はくぎ付け。日頃はなかなかできない貴重な学習ができました。

班に1人ついてくれるやさしい学生さん



昆虫は頭・胸・腹に分かれていることを学習した、大きなスズメバチ



アワトトウの幼虫がトウモロコシの葉っぱを食べる様子を食い入るように見つめます。「口が動いてる！」



学生さんが手に持っているのは、マムシの標本。自分達で捕ってきたそうで、「軍手をして、こんな棒で・・・」と捕まえた時のリアルな話も。「三角の頭のヘビはぜったい触らない！」



ふりかえりカードより

思ったことや、わかったことが上手に書けるようになってきました！

あわよとうを のひらにのせたら くすぐったくって やわらかかったです。こんちゅうは、あたまとむねとはらに わけられることが わかりました。

あわよとうは、とうもろこしの はっぱを よこから たべていました。すずめばちはおしりにはりがあります。そのはり はめすしか ついていないと わかりました。

きょうのがくしゅうで、まむしを もってきて くれました。まむしを もってきて くれると おもって いなかったの、びっくり しました。